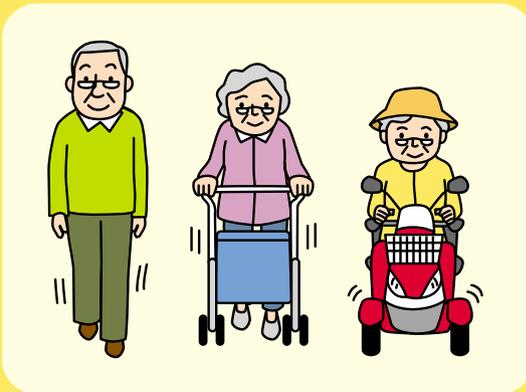


SJクイズ

[問題編]

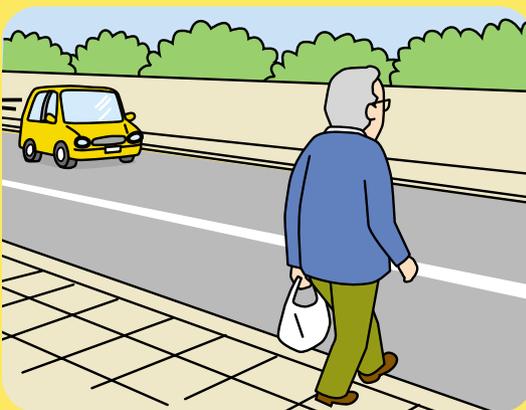
Q1 平成22年の歩行中の交通事故死者数は1714人ですが、このうち高齢者(65歳以上)の占める割合は何%でしょう?

- ①約50%
- ②約60%
- ③約70%
- ④約80%



Q2 高齢者の歩行中の交通事故死者数を事故類型別にみると、最も多いのは横断中ですが、その割合は何%でしょう?

- ①約50%
- ②約60%
- ③約70%
- ④約80%



Q3 高齢歩行者(第1・2当事者)の交通事故死傷者数を法令違反別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう?

- ①横断違反
- ②信号無視
- ③飛び出し

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

©本田技研工業(株)



本田技研工業株式会社
安全運転普及本部



Q1

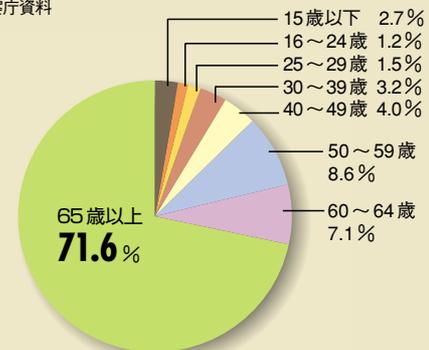
解答 ③約70%

<解説>

平成22年の交通事故死者数は4863人。このうち3割以上(1714人)が歩行中に死亡している。なかでも、65歳以上の高齢者が1228人と7割以上を占める。高齢歩行者の死亡事故は、日が暮れて間もない17時から20時にかけての夜間に多発するという特徴がある。暗い色の服装をした歩行者は明るい色の服装に比べドライバーから発見されにくく事故に遭いやすい。夜間は反射材を着用するか、目立つ服装をすることが事故防止につながる。

●平成22年中の歩行中の年齢層別死者数

※警察庁資料



【死者数1,714人中】

Q2

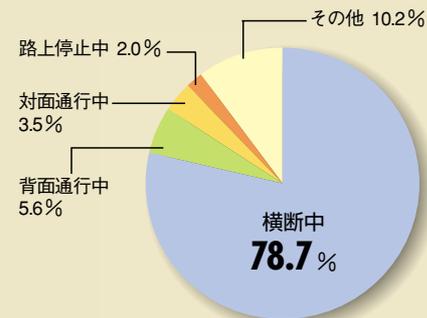
解答 ④約80%

<解説>

平成22年の高齢者(65歳以上)の歩行中・通行状況別死者数をみると、事故の約8割が道路横断中に起きている。事故の特徴として、クルマや信号を把握していたにもかかわらず、若い頃の気持ちで「まだ間に合う」と横断を開始したものの予想以上に時間がかかり、事故に遭うケースが多い。近づいてくるクルマがあるときは通り過ぎるまで待つ、横断中に再度安全を確認して危険な場合は横断を中止して引き返すなど、自らの身体機能の低下を踏まえた行動が求められる。

●平成22年中の65歳以上・歩行中・通行状況別死者数

※(財)交通事故総合分析センター資料



【65歳以上歩行中死者数1,228人中】

Q3

解答 ①横断違反

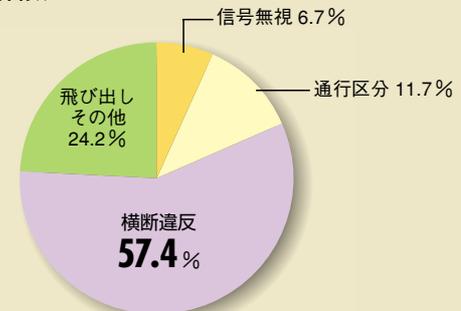
<解説>

平成22年の高齢歩行者の法令違反別死傷者数をみると、横断歩道外での横断など「横断違反※」による事故が最も多い。また、横断歩道外の場所を横断して亡くなった高齢者の多くが自宅付近(500m以内)で事故に遭っている。自宅付近だと、近くに信号機や横断歩道があるのに「いつも渡っているから大丈夫」と手近な場所から渡る人が多い。少し遠回りでも必ず横断歩道や横断歩道橋を横断する必要がある。

※道路交通法で禁止されている「横断歩道付近の横断歩道外」「斜め横断」「車両等の直前直後」「横断禁止場所」での横断。

●平成22年の高齢歩行者(65歳以上)の法令違反別死傷者数

※警察庁資料



【違反あり死傷者6,627人中】

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736